

SOUNARIA DPS AMP 貸出セット

取扱説明書

V1.2

本書について

本書は、SOUNARIA DPS AMP 貸出セットを安全に接続・使用し、素材ごとの音の違いを確認するための基本手順をまとめた取扱説明書です。

SOUNARIA DPS AMP 貸出セットとは

Bongiovi DPS 音響機能を実装した「SOUNARIA DPS AMP」とエキサイターを組み合わせ、利用者自身の素材・什器・展示物等から音を生み出すためのセットです。素材ごとに鳴り方が変わるため、貼付け位置や DPS プロファイルを切り替えながら音の違いを確認できます。



SOUNARIA

株式会社アルテックス / SOUNARIA

1. ご利用前に必ず確認してください

確認	内容
屋内・非防水	屋外、水濡れ、結露、高温多湿、粉じん・油煙、火気周辺では使用しないでください。
電源 OFF で接続	エキサイター、出力ケーブル、入力機器の接続・取り外しは、SOUNARIA DPS AMP の電源を OFF にして行ってください。
指定電源のみ使用	貸出時に同梱する指定 USB-C PD 電源（15V/3A 対応）および指定 USB-C ケーブルのみ使用してください。指定外の電源・ケーブル、モバイルバッテリー等は使用しないでください。
音量は小さく開始	電源投入時は音量を最小付近にし、ビビリ・異音・過度な振動・発熱がないことを確認しながら徐々に上げてください。
出力端子を短絡しない	MONO / L / R の各＋／－端子を短絡させないでください。通電中に端子や配線を抜き差ししないでください。
素材への貼付けに注意	エキサイターには 3M 社製の強力両面テープを事前に貼付けています。剥離紙をはがす前に貼付け位置・ケーブル経路・素材表面を確認してください。糊残り、塗装・印刷剥がれ、変色、表面破損等が生じる場合があります。
分解・改造禁止	アンプ、エキサイター、接続ケーブルの分解・改造・加工、FW 端子への無断接続は行わないでください。
異常時は停止	発煙、異臭、異常発熱、水濡れ、破損、音切れ等の異常がある場合は直ちに電源を切り、再使用せず ALTEX へ連絡してください。
重要 本セットの中心となる SOUNARIA DPS AMP には、Bongiovi DPS 音響機能が実装されています。素材によって音量・音質・共振特性は変わるため、貼付け位置や DPS プロファイルを切り替えながら適した鳴らし方を確認してください。素材の破損が心配な場合は、目立たない箇所や予備素材で事前テストしてください。	

2. 貸出セットの構成

貸出物	標準構成	役割・補足
SOUNARIA DPS AMP	1 台	音源入力、DPS プロファイル選択、音量調整、エキサイター出力を行います。
エキサイター (Dayton Audio EX25FHE2-4)	標準 2 個	対象素材を振動させて音を出します。貼付け面には 3M 社製の強力両面テープを事前に貼付けた状態で貸し出します。
アンプモジュール側 接続ケーブル	一式	アンプ出力端子から延長ケーブル／エキサイター側ケーブルへ接続します。
エキサイター側 接続ケーブル	一式	エキサイター側へ接続します。延長しやすいようアンプ側ケーブルと分離した構成です。
指定 USB-C PD 電源＋指定 USB-C ケーブル	1 式	15V/3A に対応した指定品を同梱します。安全・安定動作のため、必ず同梱品を使用してください。
交換用 両面テープ	予備一式	3M 社製の強力両面テープ。貼り直し・交換用として予備を同梱します。予備枚数は貸出内容により異なります。
取扱説明・注意事項	1 式	本書。

オプション

品名	仕様	用途
延長ケーブル	3 m	アンプモジュールとエキサイターの距離を延長する場合に使用します。

ケーブルを分割した理由

エキサイター側と SOUNARIA DPS AMP 側の接続ケーブルを分けることで、設置場所に応じて途中へ 3 m 延長ケーブルを追加できる構成としています。

3. 主な仕様

項目	仕様
電源	USB-C / 15V・3A (45W) 対応。貸出時に指定 USB-C PD 電源・指定 USB-C ケーブルを同梱
音声入力	Bluetooth / LINE (AUX IN、3.5 mm ステレオ) / microSD (TF Card、SDHC まで・FAT32・最大 32GB)
Bluetooth モジュール	Feasycom FSC-BT1026D
無線認証	電波法に基づく工事設計認証取得済み (工事設計認証番号 : 210-163280)
ライン出力	AUX OUT (3.5 mm ステレオ)
アンプ出力 MONO	+ / - 端子、10 W リミッター
アンプ出力 Stereo L	+ / - 端子、10 W リミッター
アンプ出力 Stereo R	+ / - 端子、10 W リミッター
DPS プロファイル	4 プロファイル選択 + DPS OFF (バイパス)
音量・電源	Volume ノブ兼電源スイッチ (左端で OFF)
FW 端子	通常使用では接続しません。メンテナンス用です。
使用環境	屋内 / 非防水
出力リミッターについて MONO、Stereo L、Stereo R の各アンプ出力は、エキサイター保護を目的としてそれぞれ 10 W を上限とするリミッター設定です。10 W は出力上限の考え方であり、常時 10 W で駆動することを推奨するものではありません。	

4. 各部名称・外観

前面



各部	簡易説明
DPS PROFILE	4 種類の Bongiovi DPS プロファイルと DPS OFF を切り替えます。ノブ位置 1～4 で Profile A～D を選択します。
VOLUME	音量調整と電源 ON/OFF を兼用します。左端の OFF 位置から回すと電源が入り、時計回りで音量が上がります。

背面

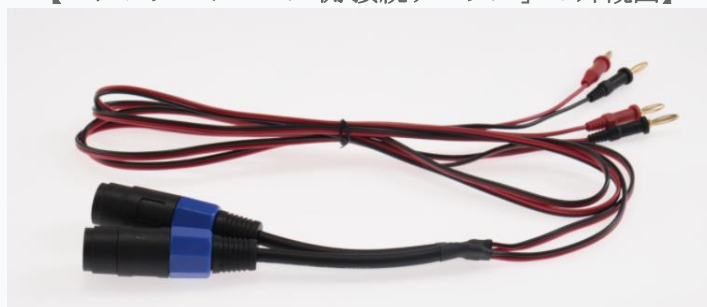


各部	簡易説明
MONO + / -	モノラル出力端子です。10 W リミッター設定。Stereo L/R とは同時使用せず、どちらか一方の出力方式を選択します。 10 W リミッター設定。
Stereo L + / -	ステレオ L チャンネル出力端子です。10 W リミッター設定。
Stereo R + / -	ステレオ R チャンネル出力端子です。10 W リミッター設定。
POWER (15V/3A)	電源入力端子です。貸出時に同梱する指定 USB-C PD 電源（15V/3A 対応）と指定 USB-C ケーブルを接続します。
FW	メンテナンス用です。通常使用では接続しません。
TF CARD	microSD カード用スロットです。SDHC まで、FAT32、最大 32GB をサポートします。
AUX IN	3.5 mm ステレオの LINE 入力端子です。外部音源機器を有線接続します。
AUX OUT	3.5 mm ステレオのライン出力端子です。エキサイターを直接接続する端子ではありません。

5. 接続ケーブルと使用イメージ

ケーブル構成

【「アンプモジュール側 接続ケーブル」の外観図】



【「エキサイター側 接続ケーブル」の外観図】



【「3 m 延長ケーブル（オプション）」の外観図】



基本接続イメージ

赤色端子を本体の「+」側、黒色端子を「-」側へ接続してください。

【接続イメージ図】



アンプ出力 → アンプ側ケーブル → [必要時：3 m 延長] → エキサイター側ケーブル → エキサイター → 対象素材

6. エキサイターの貼付け

エキサイター（Dayton Audio EX25FHE2-4）は、素材へ両面テープで貼付けて使用します。貸出時は、3M社製の強力両面テープをエキサイターの貼付け面へ事前に貼付けた状態とし、交換用の予備テープも同梱します。

重要：剥離紙をはがす前に、貼付け位置を決めてください。

一度強く貼り付けると、位置変更のための貼り直しが難しくなり、素材表面やテープを傷める場合があります。

Step	確認	内容
1	貼付け位置を確認	剥離紙をはがす前に、エキサイターを候補位置へ当て、ケーブルの届き方、周囲との干渉、設置後の見え方を確認します。
2	貼付け面を確認	平坦で安定し、乾燥していることを確認します。水分、油分、ほこり、剥がれかけの塗装・印刷等がある面には貼り付けしないでください。
3	必要に応じて事前テスト	高価品、販売品、借用品、第三者所有物、塗装・印刷面などは、目立たない箇所や予備素材で事前に確認してください。
4	剥離紙をはがして貼付け	位置が決まったら両面テープの剥離紙をはがし、エキサイターの貼付け面全体が素材へ密着するよう固定します。
5	ケーブルを接続	エキサイター側接続ケーブルを接続し、ケーブルに引張り荷重がかからないよう余裕を持たせます。必要に応じて3m延長ケーブルを使用します。
6	小音量から確認	貼付け後は小音量から再生し、ビビリ、異音、過度な振動、素材の変形等がないことを確認します。

貼付け面の適否は、別紙「エキサイター貼付けガイド（貼付け面 適／条件付き／不適）」を参照してください。なお、ここでいう貼付け適性はテープによる固定のしやすさを示すもので、音響的な適性とは異なります。

交換用両面テープを使う場合

- ・貼り直す場合は、使用済みテープをエキサイター側・素材側から可能な範囲で除去し、貼付け面を清潔・乾燥した状態にしてから交換してください。
- ・交換には同梱の予備テープを使用してください。異なる厚み・粘着力のテープを重ね貼りしないでください。
- ・エキサイターや素材を傷める可能性があるため、刃物等で無理にこすったり、素材適合性が不明な溶剤を使用したりしないでください。
- ・予備テープが不足した場合は、ALTEX へご相談ください。

7. 基本の接続・起動手順

1. SOUNARIA DPS AMP を平坦で安定した屋内の場所に置きます。
2. Volume ノブが OFF 位置になっていることを確認します。
3. エキサイターの剥離紙をはがす前に、対象素材上で貼付け位置・ケーブル経路を確認します。貼付け面の適否は別紙ガイドを参照してください。
4. 使用する出力方式に合わせ、MONO または Stereo L/R へアンプモジュール側接続ケーブルを接続します。各出力とも、赤色端子を本体の「+」側、黒色端子を「-」側へ接続してください。接続は必ず本体電源が OFF の状態で行ってください。
※赤／黒の極性を逆に接続しないでください。また、+／-端子同士を短絡させないでください。
5. 必要に応じて 3 m 延長ケーブルを接続し、その先へエキサイター側接続ケーブルを接続します。
6. 貼付け位置が決まったら剥離紙をはがし、エキサイターを素材へ貼付けます。第三者所有物、高価品、塗装・印刷面等は事前許可・テストを行ってください。
7. Bluetooth、LINE (AUX IN)、microSD (TF Card) のいずれかで音源を準備します。再生条件は「10. 入力音源の再生」を参照してください。
8. 貸出時に同梱された指定 USB-C PD 電源と指定 USB-C ケーブルを接続します。指定外の電源・ケーブルは使用しないでください。
9. Volume ノブを OFF 位置からゆっくり回して電源を ON にし、小音量から再生を開始します。
10. 異音、ビビリ、過度な振動、発熱がないことを確認しながら音量を調整します。

接続時の注意

アンプ出力端子へのケーブル接続・取り外しは必ず電源 OFF で行ってください。+／-の極性を確認し、端子間を短絡させないでください。

8. MONO / Stereo 出力の使い分け

出力	想定用途	出力上限
MONO	1つの素材・1系統で使用する場合。モノラル信号として鳴らしたい場合。	10 W リミッター
Stereo L	L チャンネル側のエキサイター出力。	10 W リミッター
Stereo R	R チャンネル側のエキサイター出力。	10 W リミッター

MONO / Stereo の使用について
MONO 出力と Stereo L/R 出力は同時に使用しません。使用する際は「MONO」または「Stereo L/R」のどちらか一方を選択し、接続変更は必ず電源を OFF にしてから行ってください。

9. DPS Profile の選択

ノブ位置	プロファイル	使い方の目安
OFF	Bongiovi DPS OFF	DPS 処理を無効化し、素材そのものの鳴り方と比較する場合。
1	Profile A	異なる DPS プロファイルを比較する場合。設定内容は貸出時の仕様により異なります。
2	Profile B	異なる DPS プロファイルを比較する場合。設定内容は貸出時の仕様により異なります。
3	Profile C	異なる DPS プロファイルを比較する場合。設定内容は貸出時の仕様により異なります。
4	Profile D	異なる DPS プロファイルを比較する場合。設定内容は貸出時の仕様により異なります。

プロファイル設定について
Profile A～D の内部設定は貸出時に ALTEX 側で設定します。利用者側では内部設定・Bongiovi DPS プロファイル・リミッター等を変更しないでください。OFF は DPS 処理を無効化する位置です。

前面の DPS Profile ノブで、4 種類の Bongiovi DPS プロファイルを切り替えます。ノブ位置 1～4 は Profile A～D に対応し、貸出時の設定内容に応じて音の違いを比較できます。

10. 入力音源の再生

本機の入力音源は、Bluetooth、LINE (AUX IN)、microSD (TF Card) の 3 種類です。入力方式によって再生条件が異なるため、以下の手順に従って使用してください。

項目	再生／使用方法	注意・条件
1) Bluetooth 再生	スマートフォン等の端末で Bluetooth 設定画面を開き、機器一覧から「SOUNARIA」を選択して接続します。接続後、端末側で音源を再生します。	Bluetooth は他の入力より優先されます。LINE 入力ケーブルや microSD カードが接続／挿入されている場合でも、Bluetooth 接続中は Bluetooth 音源が優先されます。

項目	再生／使用方法	注意・条件
2) LINE 再生 (AUX IN)	Bluetooth が未接続で、microSD カードが挿入されていないことを確認します。音源機器を AUX IN へ 3.5 mm ステレオケーブルで接続し、LINE 音源を再生します。	Bluetooth 接続中、または microSD カード挿入中は LINE 再生を行わず、それぞれの接続を解除／取り外してから使用してください。
3) SD 再生 (microSD / TF Card)	Bluetooth が未接続で、LINE 入力 (AUX IN) が未接続であることを確認します。音源を保存した microSD カードを TF Card スロットへ挿入し、SD 音源を再生します。	SDHC まで (FAT32、最大 32GB) に対応します。対応音声形式や再生順など、詳細な再生条件は貸出時の案内に従ってください。
AUX OUT (ライン出力)	外部アンプ・録音機器等へラインレベルで出力する場合に使用します。	入力端子ではありません。エキサイターを直接接続する端子でもありません。

11. 素材を鳴らすときのコツ

- 同じ素材でも、厚み・大きさ・固定方法・貼付け位置によって音量や音質が変わります。
- 貼付け前に候補位置を検討し、貼付け後は小音量で鳴り方を確認してください。位置を変更する場合は、素材への影響を確認したうえで交換用テープを使用します。
- 低域の強い音源や連続的な大音量は、ビビリ・共振・過度な振動が出やすくなります。
- 周囲の什器や部材が接触していると、意図しないビビリ音が発生する場合があります。
- DPS Profile を切り替え、同じ素材でも聴こえ方がどう変わるか比較してください。
- 高価品・販売品・第三者所有物・塗装／印刷面などは、必要に応じて「素材・貼付け前確認シート」を使用してください。

12. 使用終了・返却

1. 音源の再生を停止します。
2. **Volume** を下げ、ノブを **OFF** 位置まで回して電源を切ります。
3. 指定 **USB-C PD** 電源と指定 **USB-C** ケーブルを取り外します。
4. アンプ出力ケーブルを取り外します。
5. エキサイターを素材からゆっくり取り外し、素材に糊残り・剥がれ等がないか確認します。
6. SOUNARIA DPS AMP、エキサイター、各接続ケーブル、付属品、梱包材を確認します。
7. Bluetooth ペ어링情報、microSD 内データ等、利用者が追加した情報が残っていないか確認します。
8. 破損、紛失、異音、発熱等があった場合は、返却前に **ALTEX** へ連絡してください。

13. 困ったとき

症状	確認・対応
音が出ない	電源、 Volume 、入力選択、音源側音量、接続ケーブル、 MONO/L/R 出力端子を確認してください。
音が小さい	音源側音量、 Volume 、貼付け位置、素材の厚み・硬さ、エキサイターの密着を確認してください。
ビビリ・異音	音量を下げ、貼付け位置、素材の共振、周囲の接触物、ケーブルの緩みを確認してください。
Bluetooth 接続できない／不安定	本体電源が ON であることを確認し、端末の Bluetooth 機器一覧から「 SOUNARIA 」を選択して再接続してください。改善しない場合は端末を近づけ、必要に応じて AUX IN で切り分けてください。
異常発熱・異臭・煙・水濡れ	直ちに電源を切り、 USB-C 電源を外して再使用せず ALTEX へ連絡してください。

14. 連絡先

項目	内容
会社名	株式会社アルテックス / SOUNARIA
担当	田中、飯室
Mail	tanaka@altexcorp.co.jp / iimuro@altexcorp.co.jp
TEL	03-5497-5331